

TOEIC® プログラムで英語4技能の コミュニケーション能力を測定

TOEIC®プログラムでは、TOEIC®テストとTOEIC®スピーキングテスト/ライティングテスト
(TOEIC®SWテスト)により、「聞く」「読む」「話す」「書く」英語4技能を直接測定できます。

「聞く」「読む」英語力を直接測るなら

TOEICテスト

Listening

→ **Input**

Reading

「話す」「書く」英語力を直接測るなら

TOEIC SW テスト

Speaking

Output →

Writing

TOEIC®プログラムの各テストは学内でいつでも実施できます

TOEICテスト、TOEIC SWテストには、
公開テストのほかに学内で自由にご実施いただける

団体特別受験制度

(IP:Institutional Program、以下IPテスト)

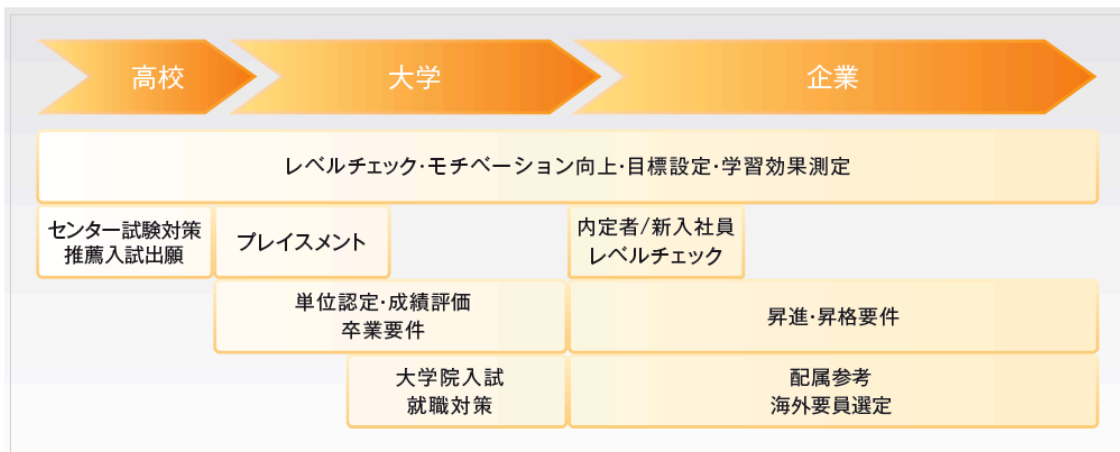
がございます。
IPテストはプレイズメントテストや
授業の効果測定などに幅広く活用されています。

*1:有料サービス
*2:TOEIC SW IPテストの場合。TOEIC SW公開テストはセット受験のみ

IPテストの特長

- ✓ 社内・学内で実施できる
- ✓ 都合に合わせて実施日を設定できる
- ✓ 複数会場で同時に実施ができる
- ✓ インターネットで申込・結果受領
- ✓ 成績一覧表をデータでお渡し
- ✓ 試験官業務を利用できる*1
- ✓ スピーキングのみ、ライティングのみ実施できる*2

TOEIC®プログラム活用事例



TOEIC®プログラム各スコアとCEFRレベルの比較表

POINT1

外国語学習者の習熟度レベルを示すガイドライン「CEFRレベル」との比較ができます。

POINT2

イギリスでの就労や大学院留学などに必要な英国ビザ取得時の英語力の証明に活用できます。

難しい (上級)	CEFRレベル*	TOEIC スコア		TOEIC SWスコア		
		Listening	Reading	Speaking	Writing	
↑	Proficient User C1	490~	455~	200	200	
	Independent User	B2	400~	385~	160~	150~
		B1	275~	275~	120~	120~
易しい (初級)	Basic User	A2	110~	115~	90~	70~
		A1	60~	60~	50~	30~

*CEFRとはCommon European Framework of Reference for Languagesの略称で、ヨーロッパ言語共通参照枠などと訳されます。欧州内の人材流動化にともなって、人材の適正な言語力評価を欧州統一基準で行う目的などから作られた枠組みで、A1~C2まで合計6段階のレベルで言語力を表すことができます。TOEICプログラムでは、おおよそA1~C1程度の英語力を測定できます。

*数字はそれぞれのレベルに対応する最低スコアを示しています。(ETS公式サイトより)

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会 (IIBC)

[資料請求・お問い合わせ]

東京 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル TEL: 03-5521-5901 FAX: 03-5521-5915
名古屋 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-4-3 錦パークビル TEL: 052-220-0282 FAX: 052-220-0284
大阪 〒541-0059 大阪府中央区博労町3-6-1 御堂筋エスジービル TEL: 06-6258-0222 FAX: 06-6258-0226

公式サイト <http://www.toeic.or.jp>